

北京紀行

ド・ギーニュ著 1808年 パリ刊

見て書いて描いた！ 中国大陸縦断の記録

ド・ギーニュ（1759-1845）はフランスの中国学者で、ナポレオン1世の命を受けて漢・仏・羅の辞典を編集した人物です。東洋学者の父から中国語を学び、1783年に広東領事として中国を訪れ、1796年まで滞在しました。本書は、オランダ領事に随行した広東から北京までの旅と滞在の記録で、別冊の図版はド・ギーニュのスケッチをもとに制作されました。フランスの政治家タレーラン（1754-1838）の旧蔵書です。

A Record of Stay in Beijing,

Joseph de Guignes, 1808, Paris

Joseph de Guignes (1759-1845) is a French sinologist who edited Chinese/French/Latin dictionary by the order of Napoleon I. He learned Chinese from his father who was an orientalist. He went to China in 1783 to be a consul in Guangdong and stayed there until 1796. This book is a record of his trip from Guangdong to Beijing accompanying a Dutch consul, and the separate illustration volume is based on his sketches. This particular edition used to belong to a French politician, Talleyrand (1754-1838).





北京紀行:1808年 ド・ギーニユ著
ペキンきこう
ちゅうごく しゅうだん きらく
 中国縦断の記録



なんだか絵が足りないみたい。足りないところをみつけて、完成させよう！

☆何をしているところ？
 ⇒秋に行われる祭の様子をえがいたものです。絵の中につまれた食物がえがかれていることから、秋の収穫祭(しゅうかくさい)をえがいていると考えられます。

☆「北京紀行」だけと北京だけじゃない？
 ⇒この本を書いたド・ギーニユは広東(カントン)から北京までを旅し、旅の道中7週間、そして北京にいた6週間の間に様々なスケッチをのこしました。『北京紀行』は、そのスケッチをもとに作られたものです。

【やってみよう】
 秋の祭では、動物や果実などをかたどった提灯(ちょうちん)が作られました。このお祭ではどんな形の提灯だったのかな？絵を見て提灯をかいてみよう！